

持続可能な藻場再生・保全を目的とした産学官連携協定を締結 ～三陸沿岸地域の活性化とカーボンニュートラル実現に向けて～

国立大学法人岩手大学、岩手県上閉伊郡大槌町、トヨタ紡織株式会社、トヨタ紡織東北株式会社は、11月4日（火）に大槌町における持続可能な藻場再生・保全に関する産学官連携協定を締結しました。

本協定は、生物多様性保全の活動を通じて地域の発展とカーボンニュートラル実現に寄与することを目的に締結したものであり、岩手大学の研究活動によって得られた知見やトヨタ紡織グループのものづくりによって培ってきた経営資源を活かし、大槌町における藻場再生・保全活動を促進することで、三陸沿岸地域の活性化を図るものです。

今後、トヨタ紡織グループは、大槌町の海業施策や岩手大学 三陸水産研究センターとも連携し、藻場再生とウニ畜養の社会実装に関わり、三陸沿岸での社会的価値と経済的価値の両立を目指します。

【トヨタ紡織ウェブサイト】

2050 年環境ビジョン

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/sustainability/environment/plan/>

2030 年中期経営計画

https://www.toyota-boshoku.com/jp/company/_assets/upload/2030mid_term_business_plan_presentation.pdf

【岩手県大槌町ウェブサイト】

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/>

【岩手大学ウェブサイト】

<https://www.iwate-u.ac.jp/index.html>

以 上